



まち探検学習（厚狭小学校）

厚狭小学校の2年生が、厚狭商店街にはどんな店があるか見て回りました。厚狭駅をスタートし、行きかう人に元気よくあいさつをしながら、書店や食料品店、和菓子屋、スポーツ用品店などの前で立ち止まって、先生の説明を聞きながらメモを取っていました。「この店は何でもそろっているね」「前にお母さんと来たことがある」などの声が聞こえてきました。また、お店の方との会話を楽しむ児童も見られました。こうした学びを通して、子どもたちは厚狭地域のよさや特色に気づき、関心を高めていくことと思われます。



花の苗の植え替え（厚陽中学校）

これまでは、小学5・6年生がマリーゴールドとサルビアの種をまき、厚陽地区緑と花の推進協議会と地域の賛同者が苗を育てていました。今年度は、地域の方と厚陽中学校の全生徒が、花の海に依頼し2、3cmの丈に育った苗をピンセットではさみ、別の大きなセルに穴をあけてそっと植え替えました。慣れてくると、2本のピンセットを使って効率よく植え替える生徒も見られました。自分たちの手で花いっぱい美しいまちにしたいという意識をもち、そのための第1歩に関われることが生徒と地域の誇りにつながります。



新体力テスト（出合小学校）

雲一つない青空の下、出合小学校で新体力テストが行われました。毎年、児童の筋力や敏捷性などを測定するため、50m走やソフトボール投げ、反復横跳びなどの種目に取り組み記録を測ります。6年生は1年生とペアになり、準備運動を一緒にしたりやり方を教えたりして1年生のお世話ができることを喜んでいました。PTA保体部員の10名も、教員の補助や記録係として協力してくださっていました。上体起こし担当の部員さんは、子どもたちが一生懸命にやっているところを見てうれしくなりますと話しておられました。

